令　和　８　年　第　９　回

教 育 委 員 会 定 例 会 教 育 長 報 告

令和８年９月２４日（木）

１	令和８年第３回市議会定例会一般質問対応状況について	資料１
２	令和７年度　学校保健統計書について	資料２
３	令和８年度　教育課題夏季研修出席状況について	資料３
４	令和８年度　武蔵村山市版全国学力・学習状況調査結果報告書について	資料４
５	令和８年度　武蔵村山市立学校研究発表会について	資料５
６	第５７回市民文化祭の開催について	資料６
７	第２９回武蔵村山市生涯学習フェスティバルの開催について	資料７
８	第２１回地区ふれあいスポレク大会の開催について	資料８
９	第５３回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催について	資料９
10	その他	

資料１

令和８年第３回市議会定例会一般質問対応状況について

質　問　者	質問事項	質　問　要　旨	答　弁　要　旨
１ 鈴　木 議　員 (市民の力)	学校における暑さ対策について	ミストシャワーやプールへの遮光シートの設置など、さらなる暑さ対策を考えていく必要があると考えるが、市教委の見解を伺う。	学校における暑さ対策につきましては、熱中症を予防する観点から、各学校の判断により、ミストシャワーや製氷機などを設置するとともに、各教員の判断により、扇風機や冷房機を適宜使用するなどしております。 また、プールの暑さ対策といたしまして、全ての小・中学校のプールサイドに日除け用の支柱が設置されており、状況に応じて、これに波板やよしずなどを取り付けているほか、簡易テントを設置している学校もございます。 今後も、各学校の実情に応じて、適切に暑さ対策を講じてまいりたいと考えております。
２ 清　水 議　員 (新政会)	学校の危機管理について	他県で事故・災害が相次ぎ、学校の危機管理体制の強化が求められる。 ①避難訓練・安全点検、	本市では、北区の小学校火災事故を受け、各小・中学校において、児童・生徒が不測の事態にも対応できる、より実践的な避難訓練を計画し、実施しております。また、安全点検につきましては、教育活動に不必要な私物の放置及び持ち込みを禁止することや、定期的な校内施設等の点検を実施しております。なお、救助袋の使用方法について研修を行っている学校もございます。
		②学校危機管理マニュアル、	本市では、様々な災害及び事故の対応等に関する国や東京都からの通知に基づき、小・中学校に対して、学校危機管理マニュアルの改訂を行うよう指導しております。現在、小・中学校から提出された同マニュアルについて確認し、指導・助言を行っております。
		③部活動の方針について伺う。	部活動の安全管理につきましては、中学校に対して、部活動運営規定等に基づき、保護者等に説明するなど、十分に配慮するよう指導しております。 また、本市の部活動における地域展開への対応につきましては、今後、地域のクラブ活動として実施していくことを想定し、安全管理について、統一した方針を示す必要があると考えております。

質　問　者	質問事項	質　問　要　旨	答　弁　要　旨
３須　藤 議　員 (公明党)	放課後子供教室サポーターの研修等について	現在、特に資格等を有しないサポーターだが、 ①研修等を受ける体制の整備、	現状、放課後子供教室の教育活動サポーターを対象とした直接的な研修の場は設けておりませんが、主にサポーターを統括している各コーディネーターの指導等を通じて、必要な知識等の習得を図っているところでございます。 御質問のサポーターを対象として研修を実施する場合には、対象者が多い等の課題があることから、今年度は、全コーディネーターを対象として研修を実施し、習得した知識等をサポーターにフィードバックする形での対応を予定しております。
		②サポーター間の意見交換や情報共有の機会が必要と考えるが見解を伺う。	教育活動サポーター間の意見交換や情報共有の機会につきましては、現在、数名のサポーターを含む放課後子供教室運営委員会やコーディネーターを対象とした意見交換会を開催する中で、サポーターからの意見や要望を共有するなどの対応をしております。 引き続き、より多くのサポーターの意見を把握し、情報共有が図れるよう取り組んでまいります。
４木　村 議　員 (市民の力)	試行実施された朝の校庭開放について	小学校始業前の子供の居場所づくり事業として試行された校庭開放の利用状況、出現した課題、他自治体での事例等、そして今後について伺う。	朝の子供の居場所づくり事業につきましては、令和８年５月２５日から、第八小学校及び第十小学校の２校で試行実施しているところでございます。 １学期末までの実績につきましては、第八小学校が、実施日数３８日、登録者数２５人、延べ利用者数１９０人で、第十小学校が、実施日数３７日、登録者数１６８人、延べ利用者数1，５５５人となっており、この間の課題といたしましては、本事業で利用する施設、備品等各学校の状況に応じた個別の調整や利用者数に応じた見守り員の配置などが挙げられます。 また、他市の状況につきましては、令和８年８月現在、２６市中、本市を含めて１３市で実施しており、本市と同様に、おおむね平日の午前７時３０分頃から、見守り員を２、３人配置した上で、校庭や放課後子供教室の部屋、図書室、体育館等を開放しているようでございます。

質　問　者	質問事項	質　問　要　旨	答　弁　要　旨
４　木　村 議　員 （市民の力）	試行実施された朝の校庭開放について	小学校始業前の子供の居場所づくり事業として試行された校庭開放の利用状況、出現した課題、他自治体での事例等、そして今後について伺う。	本事業につきましては、今後、課題等を整理し、令和９年度からの本格実施に向けて準備を進めてまいりたいと考えております。
５　田　口 議　員 （新政会）	長期休業中の子どもたちの居場所について	②学校や公共施設における取組状況について。	夏季休業期間中、各小学校におきましては、学校ごとに１週間程度の期間を定め、自習教室等を実施しているほか、一部の学校では、地域未来塾を実施しております。 また、公共施設における取組といたしまして、雷塚図書館では、夏季休業期間中、小・中学生を対象に２階の地区会館学習室を活用した読書スペースを、市民会館では、夏季等の長期休業期間中、小学生から高校生までを対象に学習スペースを不定期に提供しているところでございます。 今後も引き続き、学校や公共施設を活用し、長期休業期間中の子どもの居場所の確保に努めてまいります。
６　内野和典 議　員 （新政会）	学校給食について	①近年の給食残渣の状況と残渣削減に向けた取組について伺う。	過去３年間の給食残渣処分量の状況につきましては、小・中学校を合わせて、令和５年度が約１２９．８ｔ、令和６年度が約１３２．７ｔ、令和７年度が約１２９．３ｔとなっており、こうした残渣には、調理過程で発生する野菜の皮や芯などの残滓（ざんし）や、食べ残した残食などが含まれます。このうち、特に残食につきましては、献立の工夫や残食ゼロ週間の実施などにより、児童・生徒が自発的に残食を減らしていけるよう努めているところでございます。
		②市内農産物の活用状況について伺う。	野菜や果物などの市内農産物につきましては、市内農業者の団体を通じて、学校給食の食材として納入可能なものは、その全てを納入していただいており、令和７年度に学校給食で使用した市内農産物は、合計２３品目、使用割合は全体の２４．６％となっております。 なお、食育の観点から、学校給食で使用予定の市内農産物につきましては、毎

質　問　者	質問事項	質　問　要　旨	答　弁　要　旨
6 内野和典 議　員 （新政会）	学校給食について	②市内農産物の活用状況について伺う。	月の予定献立表に明示し、その周知を図っているところでございます。
	狭山丘陵等を活用した環境学習の推進について	貴重な自然環境保全の観点から市の取組状況について伺う。 ①小学校での実施内容について。	小学校における狭山丘陵等を活用した環境学習につきましては、第５学年において、水田学習を実施し、稲作を通した自然体験を行っております。 また、まちづくり学習において、みかん農園や茶畑の見学や体験等を行い、狭山丘陵の自然を生かした産業等について学習する取組も行っております。
7 田　村 議　員 （日本共産党）	猛暑から市民を守る熱中症対策	③猛暑等による学校プールの中止状況。	令和７年度の水泳指導につきましては、猛暑による影響のため、７月に中止をする学校が見られましたが、令和８年度の水泳指導につきましては、その影響を避けるため、例年よりも開始時期を早めて実施しております。そのため、小・中学校では、おおむね予定通りに水泳指導を実施することができております。
8 藤　枝 議　員 （日本共産党）	義務教育の無償化を求めて	①給食無償化について、私立や不登校の児童・生徒の対応はどうか。	本市におきましては、令和６年度から、東京都公立学校給食費負担軽減事業補助金を活用し、市内小・中学校の学校給食費の無償化を行っているところでございます。現状では、私立学校等の児童・生徒に係る学校給食費や不登校児童・生徒の保護者に対する学校給食費相当額の助成などは行っておりませんが、令和８年度に当該東京都の補助金について制度改正があったことを踏まえ、先般、各市の状況について調査を行い、その対応を検討しているところでございます。
		②学習ドリルや副読本、リコーダー・書道用具などの学用品も無償化すべきではないのか。	経済的な理由により、小・中学校に就学している児童・生徒の教育費の支払が困難な家庭に対しては、学用品費等の教育費の一部を就学援助費として支給しておりますが、全ての児童・生徒を対象とした学用品費の無償化につきましては、現在のところ考えておりません。
9 小部山 議　員 （青陽会）	小学校入学式における国歌、校歌斉唱について	①現状について。	小学校入学式における国歌、校歌斉唱の現状につきましては、式中において、ピアノ伴奏での児童・保護者・教職員等による斉唱を実施しております。

質　問　者	質問事項	質　問　要　旨	答　弁　要　旨
9 小部山 議　員 (青陽会)	小学校入学式における国歌、校歌斉唱について	②事前練習、歌詞カード配布について。 上記２点について伺う。	入学式当日における小学校１年生に対する事前練習、歌詞カード配布につきましては、練習時間の確保が難しいことや、歌詞カードの文字を読むことが困難な児童がいると想定されることから、実施することは難しいと考えております。
	小・中学校の授業開始における号令について	①現状について。	小・中学校の授業開始における号令の現状につきましては、学級担任や学年の方針により、方法等が若干異なる場合がございますが、全ての学校において、一斉に挨拶等を行っております。
		②その意義について。 上記２点について伺う。	号令の意義につきましては、児童・生徒に対して、休み時間と授業時間の気持ちの切替えをさせたり、挨拶などの礼儀を指導したりする機会であると考えております。
10 石　黒 議　員 (公明党)	市民プール（野山北公園プール）の今後の在り方について	①今後の方向性について。	野山北公園プールにつきましては、施設・設備の老朽化等により、安定的な施設運営が困難であることから、令和８年度は休止することといたしました。 当該プールにつきましては、破損している循環配管以外の施設・設備も経年劣化が著しく進行している状況であるため、現在、その存廃も含めて、今後の方向性について庁内で検討を進めているところであり、プール敷地内又は隣接地における通称じゃぶじゃぶ池など水遊び施設の整備の可能性を現時点で判断することは難しいと考えております。
		②既存の水利用設備を活用し、隣接地での整備やプール施設の一部の改修による、じゃぶじゃぶ池等の設置の可能性について。	
11 長　堀 議　員 (新政会)	スポーツの継続的な取組とさらなる振興について	①性別、世代などを問わず誰もが継続してスポーツに親しむ環境整備について伺う。	スポーツ環境の整備につきましては、第二次スポーツ推進計画に基づき、市民が気軽に身近な場所で、誰もがいつでも運動やスポーツ・レクリエーションを楽しむことができるよう、拠点となる総合体育館や各種体育施設等について計画的に整備及び改修を行うとともに、学校体育施設についても、学校教育に支障のない範囲で、市民のスポーツ・レクリエーションの場として開放しております。 また、スポーツ活動を推進する取組として、各地区のレクリエーションスポーツ事業や総合体育館の自主事業、スポーツ都市宣言記念事業、ニュースポーツ体験教室などのほか、総合型地域スポーツクラブ「よってかっしぇクラブ」の運営

質　問　者	質問事項	質　問　要　旨	答　弁　要　旨
11 長　堀 議　員 （新政会）	スポーツの継続的な取組とさらなる振興について	①性別、世代などを問わず誰もが継続してスポーツに親しむ環境整備について伺う。	支援など、市民の誰もが、生涯にわたって多様なスポーツ活動に親しむことができる取組を行っているところでございます。
		②スポＧＯＭＩや防災スポーツなどの新たな取組について伺う。	スポＧＯＭＩにつきましては、ごみ拾いにスポーツの要素を取り入れることで、楽しさや競技性、協調性を高め、参加しやすくした活動であると環境省のホームページでも紹介されており、主に都道府県や民間事業者の主催により実施されていること、また、防災スポーツにつきましても、避難や救助などに役立つ動きを体験型ゲームや運動会形式で体験する取組が学校や企業等で実施されていることは、ホームページなどで確認しております。 本市では、現在、これらの取組を実施する計画はございませんが、スポーツの楽しさを通じて、清掃活動や防災対策に対する市民の意識や関心を高める効果も期待できることから、今後、他市の事例等について研究してまいりたいと考えております。

資料２

学校保健統計書

令 和 7 年 度

令和８年９月

武蔵村山市教育委員会

目　　次

Ⅰ　定期健康診断計測結果

１　学年別身長・体重の平均値・・・・・・ 1

（１）令和７年度

（２）平成２７年度から令和６年度まで

Ⅱ　疾病異常等調査結果

１　学年別疾病異常被患者数・・・・・・・ 4

２　学校感染症等による出席停止者数・・・ 6

３　就学児童疾病異常被患者数・・・・・・ 8

Ⅲ　各種検診検査結果

１　心臓検診検査結果・・・・・・・・・・ 9

２　尿検査結果・・・・・・・・・・・・・12

Ⅰ　定期健康診断計測結果

１　学年別身長・体重の平均値

（１）令和７年度

区分 / 男女別 / 校種 / 学年		身長（ｃｍ）		体重（ｋｇ）	
		男	女	男	女
小学校	１　年	116.8	115.4	21.9	21.2
	２　年	121.4	121.5	24.0	23.8
	３　年	128.1	127.8	27.7	27.3
	４　年	134.5	133.5	32.2	30.3
	５　年	139.4	140.7	35.9	35.0
	６　年	145.2	147.3	39.4	40.3
中学校	１　年	152.7	152.5	44.5	45.1
	２　年	160.9	154.4	51.8	48.2
	３　年	165.7	156.4	55.2	51.0

（２）平成２７年度から令和６年度まで

① 身 長

校種	学年	２７		２８		２９		３０		令和元	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	1年	116.2	115.4	115.8	114.8	115.9	115.8	116.2	115.0	115.9	115.8
	2年	122.1	121.2	122.0	121.6	121.8	120.8	121.8	121.9	122.1	120.6
	3年	128.2	126.6	127.6	126.9	127.7	127.2	127.9	126.7	127.5	127.8
	4年	133.2	132.4	133.3	132.4	133.0	132.9	133.0	133.2	133.2	132.6
	5年	139.0	139.9	138.6	139.0	138.2	139.0	138.5	139.7	138.3	139.6
	6年	144.2	146.6	145.3	146.5	144.6	145.9	144.9	145.7	144.2	146.3
中学校	1年	152.3	151.0	152.0	151.8	152.5	152.0	152.4	151.6	152.6	151.1
	2年	158.9	154.9	159.9	154.4	159.6	154.9	160.5	154.9	159.7	154.5
	3年	165.4	156.0	164.5	156.5	165.2	155.8	165.5	156.4	165.6	156.3

② 体 重

校種	学年	２７		２８		29		３０		令和元	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
小学校	1年	21.2	21.2	21.3	20.7	21.1	21.6	21.6	20.9	21.2	21.1
	2年	23.8	23.6	23.9	23.9	23.9	23.3	23.8	24.2	24.3	23.4
	3年	27.5	25.9	27.0	26.8	26.8	26.8	27.4	26.4	26.8	27.3
	4年	30.3	29.2	30.9	29.4	30.2	30.1	30.4	30.4	30.6	29.7
	5年	34.5	34.0	34.3	33.5	34.4	33.8	33.8	34.4	33.5	34.3
	6年	37.9	39.3	39.0	39.0	38.4	38.1	39.0	38.6	37.8	39.2
中学校	1年	43.2	44.0	43.4	43.3	44.3	43.5	43.7	43.3	44.5	43.8
	2年	48.7	47.0	49.1	47.5	49.2	47.1	49.7	47.8	49.0	46.9
	3年	54.5	49.6	54.4	49.6	54.4	49.6	54.1	49.9	54.8	50.4

（単位：cm）

2		3		4		5		6	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
117.4	116.6	116.4	115.4	117.1	115.4	116.4	116.1	115.5	115.5
123.2	123.0	122.2	121.4	122.6	121.5	123.3	121.4	122.3	121.7
129.5	128.3	127.8	127.9	128.0	127.8	128.3	127.9	128.8	127.2
134.1	135.4	133.9	133.5	133.3	134.6	133.5	134.0	133.8	134.0
140.1	141.3	138.8	141.3	139.8	140.5	139.2	141.0	138.8	140.4
146.3	148.0	145.6	146.6	145.2	148.0	146.1	147.0	145.7	148.0
154.2	152.5	152.8	151.9	153.7	151.6	153.2	152.7	153.8	151.7
161.8	154.8	160.1	154.6	160.5	154.8	160.6	154.3	160.4	154.9
166.5	156.6	165.7	156.1	165.9	156.2	165.6	156.3	165.5	155.7

（単位：kg）

2		3		4		5		6	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
21.9	21.3	21.6	21.2	22.1	21.0	21.4	21.4	21.1	21.0
24.9	24.3	24.3	23.7	24.7	23.9	25.2	23.6	24.3	23.9
29.1	27.4	27.6	27.1	27.9	28.2	28.0	27.2	28.5	26.8
31.8	32.1	32.2	31.0	31.6	31.3	31.3	30.9	31.8	30.8
36.4	35.1	34.8	35.7	36.4	35.4	35.2	36.0	34.9	35.1
40.2	40.6	40.1	39.5	39.3	41.3	40.7	40.4	39.6	41.1
46.1	44.3	45.1	45.0	45.6	44.2	44.9	45.7	46.3	44.7
52.6	47.6	50.2	48.0	50.7	48.3	50.9	47.1	50.1	48.7
56.2	49.9	56.0	49.6	54.9	49.9	55.1	50.2	55.4	49.4

Ⅱ 疾 病 異 常 等 調 査 結 果

1 学年別疾病異常被患者数

区分 男女別	校種	学年	受診者数	栄養状態 栄養不良	栄養状態 肥満傾向	脊柱側わん症・脊柱異常	胸郭異常	四肢異常	裸眼視力 1.0以上	裸眼視力 1.0未満0.7以上	裸眼視力 0.7未満0.3以上	裸眼視力 0.3未満	眼鏡・コンタクト装用者	眼疾患 感染性眼疾患	眼疾患 アレルギー性眼疾患	眼疾患 その他の眼疾患	難聴
男子	小学校	1	305		5				226	51	20	2	7		88	6	4
		2	294		9	5			204	54	26	4	10		91	3	1
		3	296		8	6			196	48	34	9	11		92	7	2
		4	295		12	6			178	55	30	14	20		72	2	／
		5	284		17	4			167	37	33	17	30		75	2	1
		6	340		19	7		1	206	43	33	21	43		84	4	／
		計	1,814	0	70	28	0	1	1,177	288	176	67	121	0	502	24	8
	中学校	1	283		4	4			151	41	37	19	38		55	3	1
		2	302		6	3	1		144	43	36	28	57		42	3	／
		3	329		10	6	2		151	36	55	33	57		58	0	2
		計	914	0	20	13	3	0	446	120	128	80	152	0	155	6	3
女子	小学校	1	270		4	5	1		190	53	16	2	9		56	4	4
		2	269		8	3			180	41	28	11	10		60	5	2
		3	290		10				180	43	38	12	18		60	5	
		4	296		4	8		1	157	54	38	15	36		58	6	／
		5	323		11	3			166	46	50	30	32		66	4	3
		6	287		9	5			132	51	38	17	52		39	2	／
		計	1,735	0	46	24	1	1	1,005	288	208	87	157	0	339	26	9
	中学校	1	282		3	7			132	46	32	23	54		50	3	
		2	299		5	3			122	29	40	35	76		39	1	／
		3	261		1	3			100	32	35	28	83		49	3	
		計	842	0	9	13	0	0	354	107	107	86	213	0	138	7	0

『令和７年度学校保健統計調査』

（注１）空欄は、該当者なしを示すものである。
計の欄のみ該当者がなしでも０と表記。
（注２）／は調査対象学年でないことを示すものである。
（注３）健康診断では判定されず、個別受診等で診断され、その結果を学校が把握している場合の人数を含んでいるため、各種検診結果とは数値が異なる。

（単位：人）

耳鼻咽喉疾患			皮膚疾患			結核		心臓		尿蛋白検出	尿糖検出	その他				歯科及び口腔					
耳疾患	鼻・副鼻腔疾患	口腔咽喉頭疾患	感染性皮膚疾患	アレルギー性皮膚疾患	その他の皮膚疾患	結核	精密検査対象者	心臓疾患	心電図異常			気管支喘息	腎臓疾患	言語障害	その他の疾病・異常	受診者数	う歯		歯周疾患	歯列・咬合・顎関節の異常	その他の歯・口腔の疾病・異常
																	処置完了者	未処置歯のある者			
22	118	2		42	6			2	5			17	1		2	302	23	64			17
12	132	2		37	1		2	2				14			4	292	37	70			15
9	129	2		41	2					1		19		1	3	296	49	69		2	7
9	132			35	2			1				16			1	295	46	83		1	14
9	118	3		37	2			1		1		16	1		1	281	66	58		1	26
12	146	2		46			1	2		1	2	14	3		3	340	75	41		4	25
73	775	11	0	238	13	0	3	8	5	3	2	96	5	1	14	1,806	296	385	0	8	104
13	108			18	4			2	5	2		19			10	276	59	46	1	1	
6	105			18	10			3		3		6			19	293	57	35	3		3
7	126			21	5			1		8		7			11	315	99	36	3	3	4
26	339	0	0	57	19	0	0	6	5	13	0	32	0	0	40	884	215	117	7	4	7
17	64	2		30	1		1		2	1		16			2	263	17	49			20
11	76			22	5		1	1		1		5			3	267	30	54		1	10
9	78	1		28	4			2		2	1	10				290	51	70		2	14
11	87	4		44						2	1	10			2	294	56	70		1	23
6	112	2		38	1			3		1	1	16	2		4	320	60	45	1	1	34
5	80			26	1					3	2	15			1	285	62	58		1	17
59	497	9	0	188	12	0	2	6	2	10	5	72	2	0	12	1,719	276	346	1	6	118
7	106		1	18	4			6	4	5	1	6			6	278	58	40		1	
3	87			18	2			1		5		6			9	285	68	36	3	5	2
3	89			15	2			2		2	1	9			9	256	77	38	1	4	
13	282	0	1	51	8	0	0	9	4	12	2	21	0	0	24	819	203	114	4	10	2

2　学校感染症等による出席停止者数

小学校　　（単位：人）

病名＼月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MERSコロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ														0
第二種	インフルエンザ		10	3				9	119	616	165	65	321	219	1,527
	百日咳				1										1
	麻疹							1							1
	流行性耳下腺炎		3	2											5
	風疹														0
	水痘		2	2		2			2		3	2		1	14
	咽頭結膜熱		1	2	3	2		1							9
	新型コロナウイルス感染症		5	1	4	1		20	7	10	3	14	16	4	85
	結核														0
	髄膜炎菌性髄膜炎														0
第三種	腸管出血性大腸菌感染症														0
	流行性角結膜炎			1	1	4		7	4	3		1			21
	急性出血性結膜炎														0
	コレラ														0
	細菌性赤痢														0
	腸チフス・パラチフス														0
	その他	溶連菌感染症	30	35	46	21		8	17	14	28	14	7	7	227
		ウイルス性肝炎													0
		手足口病													0
		伝染性紅斑													0
		マイコプラズマ感染症			3	6			1	1	1	3			15
		感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等）	6	1								4	2	6	19
		ヘルパンギーナ													0
		帯状疱疹													0
		その他													0
合計			57	47	58	36	0	46	150	644	200	103	346	237	1,924

『令和７年度学校保健統計調査』

（注１）空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも０と表記。

（注２）／は調査対象月でないことを示すものである。

中学校

（単位：人）

病名＼月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARSコロナウイルス）、中東呼吸器症候群（MERSコロナウイルス）、特定鳥インフルエンザ														0
第二種	インフルエンザ		11	1				3	22	260	217	17	160	17	708
	百日咳		1	1					1						3
	麻疹														0
	流行性耳下腺炎														0
	風疹														0
	水痘					2				1		1			4
	咽頭結膜熱				1										1
	新型コロナウイルス感染症		1	2		3		13	3	2	3	4	19	7	57
	結核														0
	髄膜炎菌性髄膜炎														0
第三種	腸管出血性大腸菌感染症														0
	流行性角結膜炎				1					1					2
	急性出血性結膜炎														0
	コレラ														0
	細菌性赤痢														0
	腸チフス・パラチフス														0
	その他	溶連菌感染症	3	1	6	1		1	4	3	2	1			22
		ウイルス性肝炎													0
		手足口病													0
		伝染性紅斑													0
		マイコプラズマ感染症				2			1	1	1				5
		感染性胃腸炎（ノロウイルス、ロタウイルス、アデノウイルス等）								1			2		3
		ヘルパンギーナ													0
		帯状疱疹										1			1
		その他													0
合計			16	5	8	8	0	17	31	269	223	24	181	24	806

『令和７年度学校保健統計調査』

（注１）空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも０と表記。

（注２）／は調査対象月でないことを示すものである。

3　就学児童疾病異常被患者数

令和７年１１月末時点(単位：人)

項目				男	女	合計	備考
①就学予定者数				289	255	544	
②受診者数				263	242	505	
検査項目	③栄養状態		栄養不良			0	
			肥満傾向		1	1	
	④脊柱の疾病及び異常					0	
	⑤胸郭の異常			2	1	3	
	⑥皮膚疾患			4	8	12	
	⑦心臓の疾病及び異常			1	3	4	
	⑧食物アレルギー			24	15	39	
	⑨	結核	結核性の病気にかかったことがある者			0	
			家族や同居人で結核にかかったことがある者			0	
			過去３年以内に通算して半年以上、海外に住んでいたことがある者	2	3	5	
			ＢＣＧの接種を受けたことがある者	163	156	319	
			結核検査のための胸部Ｘ線撮影をしたことがある者	1	1	2	
	⑩	裸眼視力0.3未満（両目又は、片目が0.3未満の者）		15	7	22	
		眼鏡等装着測定者		4	6	10	
	⑪その他の疾病及び異常			6	10	16	
	⑫歯・口腔の疾病異常	う歯	処置完了者	21	23	44	
			未処置歯のある者	54	35	89	
		その他の歯・口腔の疾病及び異常		9	12	21	

（注）空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも０と表記。

Ⅲ 各種検診検査結果

1　心臓検診検査結果

小学校　　（単位：人）

校　種	受診者数	有所見者数	有　所　見　者　内　訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
１年生	571	15	12			3
他学年	12	3	1			2
合計	583	18	13	0	0	5

中学校　　（単位：人）

校種	受診者数	有所見者数	有　所　見　者　内　訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
１年生	573	9	6			3
他学年	15	4				4
合計	588	13	6	0	0	7

小・中学校全体　　（単位：人）

校　種	受診者数	有所見者数	有　所　見　者　内　訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
小学校	583	18	13			5
中学校	588	13	6			7
合計	1,171	31	19	0	0	12

（注１）空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも０と表記。
（注２）心臓検診検査結果は、疾病異常等調査結果と対象に違いがあるため、数値が異なる。

小学校内訳(学校別・１年生のみ)　　（単位：人）

校　種	受診者数	有所見者数	有　所　見　者　内　訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
第一小学校	56	1	1			
第二小学校	64	1	1			
第三小学校	60	4	3			1
村山学園小学部	63					
大南学園第七小学校	95	3	3			
第八小学校	87	1	1			
第九小学校	44					
第十小学校	62	2	1			1
雷塚小学校	40	3	2			1
合計	571	15	12	0	0	3

中学校内訳(学校別・１年生のみ)　　（単位：人）

校　種	受診者数	有所見者数	有　所　見　者　内　訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
第一中学校	158	2	2			
村山学園中学部	67	1	1			
第三中学校	101	2	1			1
大南学園第四中学校	87					
第五中学校	160	4	2			2
合計	573	9	6	0	0	3

小学校内訳(学校別・他学年)　　(単位：人)

校　種	受診者数	有所見者数	有　所　見　者　内　訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
第一小学校	1	1				1
第二小学校						
第三小学校	7	1	1			
村山学園小学部	1					
大南学園第七小学校	1					
第八小学校	1					
第九小学校	1	1				1
第十小学校						
雷塚小学校						
合計	12	3	1	0	0	2

中学校内訳(学校別・他学年)　　(単位：人)

校　種	受診者数	有所見者数	有　所　見　者　内　訳			
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常
第一中学校	6	1				1
村山学園中学部	1					
第三中学校	1					
大南学園第四中学校	2					
第五中学校	5	3				3
合計	15	4	0	0	0	4

２　尿検査結果

学校名	一次検査（人）									陽性率
	検査者数	陽性者数	陽性者内訳							
			蛋白	糖	潜血	蛋・潜	蛋・糖	糖・潜	蛋・糖・潜	(%)
第一小学校	360	6	1		5					1.7
第二小学校	351	8	3		4	1				2.3
第三小学校	359	8	1	2	4			1		2.2
村山学園小学部	366	7	2	1	4					1.9
大南学園第七小学校	621	15	3	1	11					2.4
第八小学校	617	9	2	1	6					1.5
第九小学校	273	6	2	1	2	1				2.2
第十小学校	395	8	3	1	3	1				2.0
雷塚小学校	230	2			2					0.9
合計	3,572	69	17	7	41	3	0	1	0	全体 1.9

学校名	一次検査（人）									陽性率
	検査者数	陽性者数	陽性者内訳							
			蛋白	糖	潜血	蛋・潜	蛋・糖	糖・潜	蛋・糖・潜	(%)
第一中学校	533	26	8		17	1				4.9
村山学園中学部	195	7	2	1	3	1				3.6
第三中学校	301	16	4	2	10					5.3
大南学園第四中学校	262	15	8	1	6					5.7
第五中学校	480	25	8		15	2				5.2
合計	1,771	89	30	4	51	4	0	0	0	全体 5.0

（注１）空欄は、該当者なしを示すものである。合計欄のみ該当者がなしでも０と表記。
（注２）尿検査結果は、疾病異常等調査結果と対象に違いがあるため、数値が異なる。

二　次　検　査　（人）									陽性率
検査者数	陽性者数	陽　性　者　内　訳							
		蛋白	糖	潜血	蛋・潜	蛋・糖	糖・潜	蛋・糖・潜	（%）
5	3			3					0.8
7	1			1					0.3
8	2		1	1					0.6
7	2		1	1					0.5
15	4		1	3					0.6
9	2			2					0.3
5	4	1		2	1				1.5
8	2			1	1				0.5
2									0.0
66	20	1	3	14	2	0	0	0	全体 0.6

二　次　検　査　（人）									陽性率
検査者数	陽性者数	陽　性　者　内　訳							
		蛋白	糖	潜血	蛋・潜	蛋・糖	糖・潜	蛋・糖・潜	（%）
24	4	1		2	1				0.8
4	1					1			0.5
15	2			2					0.7
14	2	1		1					0.8
19	2			2					0.4
76	11	2	0	7	1	1	0	0	全体 0.6

学 校 保 健 統 計 書

令　和　7　年　度

発行年月　令和８年９月

発　行　武蔵村山市教育委員会

編　集　武蔵村山市教育委員会教育部教育総務課

〒208-8501
武蔵村山市本町一丁目１番地の１
TEL 042（565）1111 （代表）　内線422・426

資料３

「令和８年度教育課題夏季研修」出席状況について

１　開催年月日
令和８年８月３日（月）及び４日（火）

２　会場
武蔵村山市民総合センター（教育センター）３階研修室

３　研修テーマ

回	テーマ
第１回	インクルーシブ教育の実現に向けて～学級・授業のユニバーサルデザイン化～
第２回	クレーム・カスタマーハラスメントについて学ぶ
第３回	人材と連携した探究的な学習の充実に向けて～南極地域観測隊とつくった授業実践～
第４回	しくみから考える租税教育

４　参加者数（人）

学校名	第１回	第２回	第３回	第４回
第一小学校	1	1	1	1
第二小学校	0	0	1	1
第三小学校	0	0	0	0
第八小学校	2	2	4	1
第九小学校	2	2	3	0
第十小学校	0	1	2	1
雷塚小学校	3	5	2	3
小中一貫校村山学園	0	1	0	1
大南学園第七小学校	1	1	1	0
大南学園第四中学校	0	2	0	1
第一中学校	1	1	0	0
第三中学校	1	0	2	1
第五中学校	1	1	1	1
他地区	5	5	2	2
合計	17	22	19	13

資料４

令和８年度

『武蔵村山市版』
全国学力・学習状況調査
結果報告書

令 和 ８ 年 ９ 月 24 日

武蔵村山市教育委員会

【目次】

１　調査の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

２　教科に関する調査の結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

３　各教科の成果と課題【国語】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３

４　各教科の成果と課題【算数・数学】・・・・・・・・・・・・・・・・・４

５　各教科の成果と課題【英語】・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

６　児童・生徒質問調査の結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

７　各教科の成果と児童・生徒質問調査とのクロス集計 ・・・・・・・・・８

８　学校質問調査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

令和８年度 「全国学力・学習状況調査」の結果について

１　調査の概要

⑴　調査の目的

> 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
>
> （令和８年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領より）

⑵　調査の対象学年及び対象児童・生徒数（実施児童・生徒数）

ア　市立小学校　第６学年　　９校　595 人（567 人）

イ　市立中学校　第３学年及び中学部第９学年　５校　595 人（548 人）

⑶　調査の内容

ア　教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

イ　学習意欲、学習方法、学習環境、生活諸側面等に関する質問調査

ウ　学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問調査

⑷　調査の方式

悉皆調査

⑸　調査実施日

ア　教科に関する調査

（ｱ）　国語、算数・数学：令和８年４月 23 日（木）

（ｲ）　英語（聞くこと、読むこと、書くこと）：令和８年４月 20 日（月）から 23 日（木）までの間

（ｳ）　英語（話すこと）：令和８年４月 24 日（金）から５月 29 日（金）までの間

※英語は、事前に文科省が各学校の希望を基に、実施日を指定する。

イ　児童生徒質問紙調査

令和８年４月 24 日（金）から５月８日（金）までの間で、各学校の状況に応じて実施

ウ　学校質問紙調査

令和８年４月１日（水）から 17 日（金）までの間で、各学校の状況に応じて実施

⑹　調査時間

ア　小学校

国語・算数：各 45 分、児童質問調査：20 分程度

イ　中学校

国語・数学・英語（読むこと・書くこと）：各 50 分、英語（聞くこと・話すこと）：各 20 分

生徒質問調査：30 分程度

⑺　調査結果の活用

児童・生徒一人一人の学習状況の改善に役立てるとともに、各学校における授業の改善、市における学力向上のための施策の充実に役立てる。

２　教科に関する調査の結果

⑴　概要

本市の国語、算数・数学の平均正答率及び英語の平均ＩＲＴスコアは、全国及び東京都を下回った。一方、中学校の国語・数学は、小学校第６学年時と比較して全国平均に対する充足率が上昇しており、同一学習集団の学力の伸びが見られる。各教科では、基礎的な知識・技能に一定の成果が見られる一方、根拠を明確にして考えをまとめたり、説明したりする力に課題がある。児童・生徒質問調査やクロス集計では、教科を「好き」と感じることや、学習内容を振り返ること、粘り強く考えることなどと学力との関連が見られた。

今後は、児童・生徒が自ら課題に向き合い、既習事項を生かして考えを深め、根拠をもって表現する学習活動の一層の充実を図る必要がある。

⑵　平均正答率〔％〕　　※（　　）は全国平均正答率に対する充足率

	小学校		中学校		
	国語	算数	国語	数学	英語（４技能）
本市	51（83.7）	46（81.5）	59（92.3）	53（92.9）	473
都(公立)	65	63	68	62	529
全国(公立)	60.9	56.4	63.9	57.0	499

【参考】

校種	小学校			中学校		
教科／年度	国語	算数	理科	国語	数学	理科
令和７年度	57（85.3）	47（81.0）	45（78.8）	51（93.9）	42（87.0）	378【503】
令和６年度	56（82.7）	52（82.0）		51（87.7）	45（85.7）	
令和５年度	57（84.8）	53（84.8）		62（88.8）	44（86.2）	
令和４年度	53（80.7）	53（83.8）	54（85.3）	63（91.3）	42（81.7）	43（87.2）
令和３年度	52（80.3）	59（84.0）		57（88.2）	50（87.4）	
令和２年度						
令和元年度	51（79.9）	57（85.5）		69（94.7）	50（83.6）	

※　令和２年度調査は、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、実施していない。

※　令和元年度（平成 31 年度）及び令和５年度は中学校において英語の調査を実施し、令和５年度については、「話すこと」調査を実施した。

【本市平均正答率・平均正答数】（　）は全国平均正答率・平均正答数に対する充足率

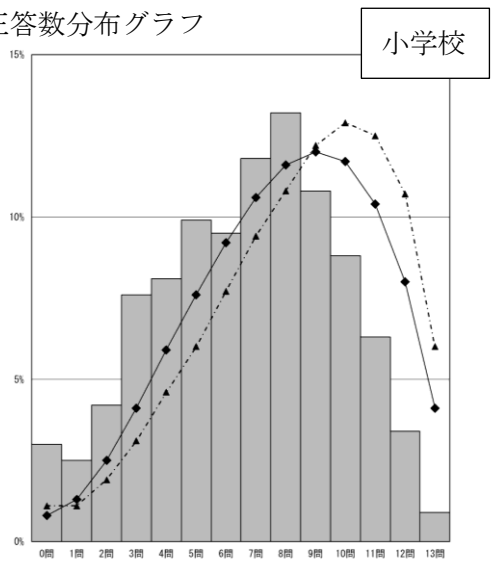
令和元年度：51％（91.0）、令和５年度：41％（89.9）「話すこと」0.4 問（66.6）

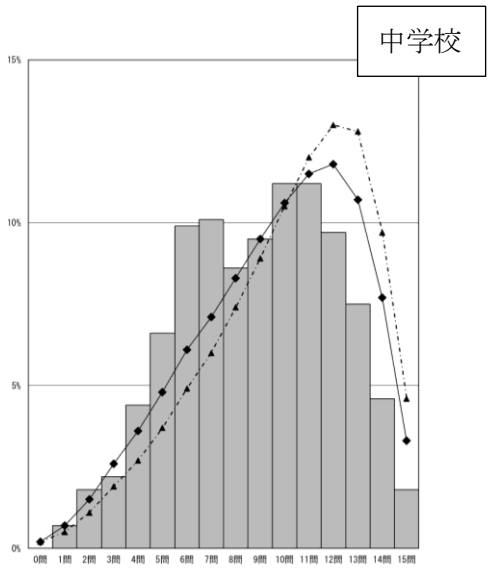
※　充足率は小数第２位以下を切り捨てた数値で表示している。

※　令和７年度中学校理科は、「平均ＩＲＴスコア【全国平均ＩＲＴスコア】」を表示している。

3　各教科の成果と課題【国語】

⑴　正答数分布グラフ





※　横軸：正答数、縦軸：割合

※　棒グラフ：武蔵村山市、折れ線グラフ▲：東京都（公立）、折れ線グラフ◆：全国（公立）

⑵　平均正答率〔%〕

		学習指導要領の内容						問題形式		
		⑴	⑵	⑶	A	B	C	選択式	短答式	記述式
小学校	市	59.6	42.7		56.0	35.2	52.8	52.8	54.9	41.4
	都	70.4	56.7		35.2	50.4	68.8	66.4	66.5	56.3
	国	66.8	52.3		52.8	45.7	65.9	61.9	62.6	54.9
中学校	市	56.7	65.7		58.7	65.3	55.6	68.7	49.4	40.4
	都	66.2	74.6		68.1	70.5	64.2	76.5	58.5	50.0
	国	63.0	70.4		63.9	67.4	59.7	72.7	55.8	45.5

※　⑴言語の特徴や使い方に関する事項　⑵情報の扱い方に関する事項
⑶我が国の言語文化に関する事項

※　A：話すこと・聞くこと　　B：書くこと　　C：読むこと

⑶　成果と課題

ア　成果

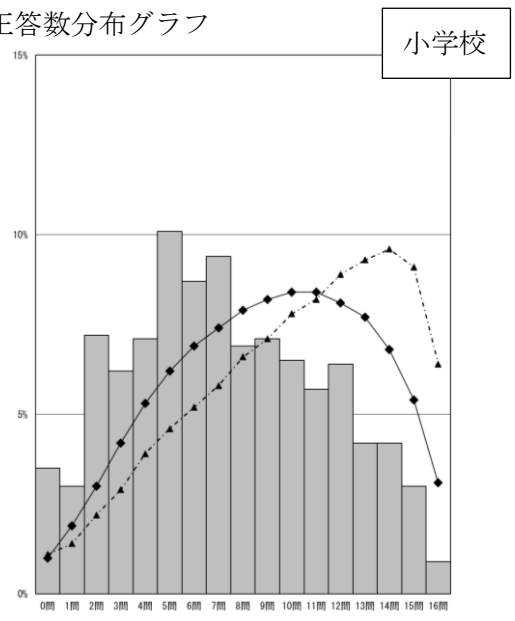
中学校国語では、平均正答率は全国を下回るものの、「書くこと」は 65.3%で全国との差が 2.1 ポイントと小さく、表現を工夫して書く問題は 92.7%と全国を上回った。また、文章の展開を捉える問題や中心的・付加的な部分を捉える問題でも全国と同程度であり、文章構成を捉えたり表現を工夫したりする力に成果が見られる。

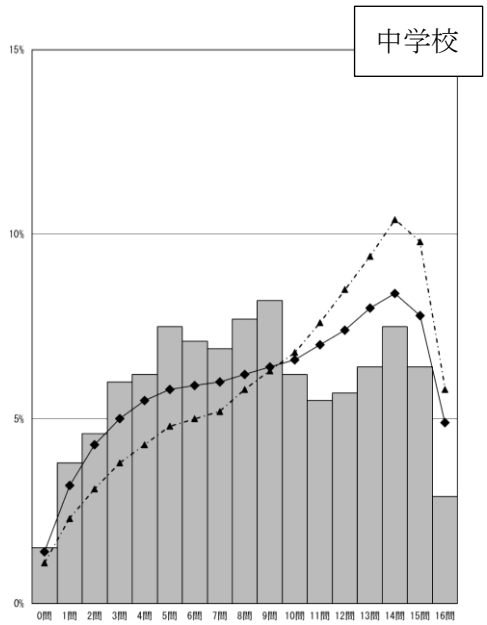
イ　課題

小学校国語は全体 51%で全国を 9.9 ポイント下回り、特に「書くこと」35.2%、「情報の扱い方」42.7%に課題が見られる。引用して考えを書く問題は 19.9%で、無解答率も全国より高い。中学校でも漢字・語句の理解や、文章を踏まえて考えを記述する問題が低く、語彙力と根拠を明確にして表現する力の育成が必要である。

4　各教科の成果と課題【算数・数学】

⑴ 正答数分布グラフ





※　横軸：正答数、縦軸：割合

※　棒グラフ：武蔵村山市、折れ線グラフ▲：東京都（公立）、折れ線グラフ◆：全国（公立）

⑵ 平均正答率〔%〕

		学習指導要領の内容					問題形式		
		A	B	C1	C２	D	選択式	短答式	記述式
小学校	市	49.7	42.9	68.0	32.6	38.9	46.7	48.7	35.0
	都	68.0	63.4	82.9	49.9	53.9	62.6	66.7	54.3
	国	61.1	55.3	78.1	41.1	48.6	56.0	59.7	48.5
中学校	市	63.9	44.3		49.2	49.0	53.8	60.4	33.8
	都	71.0	56.9		59.2	57.7	63.1	68.8	45.8
	国	67.8	48.7		54.8	53.5	59.3	64.2	39.1

※　A：数と計算（小）、数と式（中）　　B：図形

C１：測定　　C２：変化と関係（小）、関数（中）　　D：データの活用

⑶ 成果と課題

ア　成果

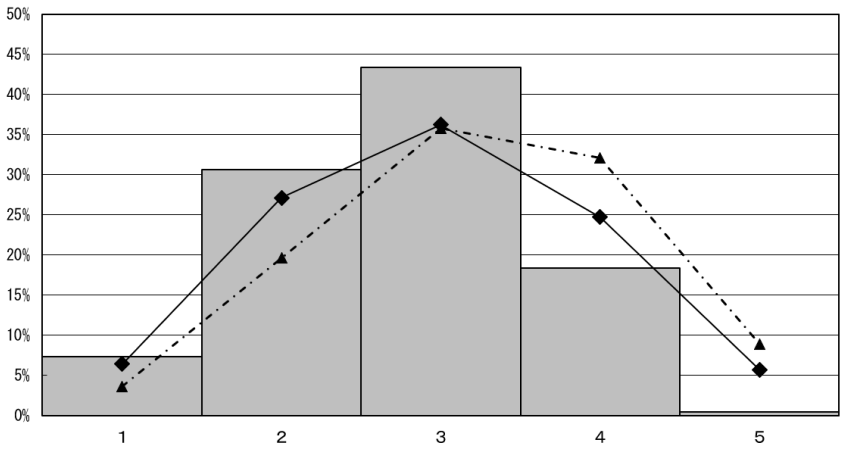
中学校数学では、正負の数を用いて状況を表す問題が 86.5%で全国を上回り、確率、グラフから必要な情報を読む問題、三角形の合同を基に証明する問題でも全国と同程度の結果が見られた。小学校算数でも、条件に合う小数をつくる問題は 90.8%と高く、基礎的な知識・技能を用いて数量や図形の関係を捉える力には一定の成果が表れている。

イ　課題

小学校算数は全体 46%で全国を 10.4 ポイント下回り、割合、分数、二次元の表の読み取りなどに大きな課題がある。特に、根拠や求め方を記述する問題では正答率が低く、無解答率も高い。中学校数学でも、関数やデータを基に考察し、理由や方法を数学的に説明する記述問題で課題が継続しており、説明する活動の充実が必要である。

５　各教科の成果と課題【英語】

⑴　ＩＲＴバンド分布グラフ
（４技能）



※中学校は、IRT バンドにより提示されている。IRT バンドとは、項目応答理論（IRT）に基づいて対象者の学力や能力を５段階で分類したものである。より公平で性格な評価を可能にしている。

※　横軸：ＩＲＴバンド、縦軸：割合

※　棒グラフ：武蔵村山市、折れ線グラフ▲：東京都（公立）、折れ線グラフ◆：全国（公立）

⑵　正答率〔%〕

番号	問題の概要	学習指導要領の領域	問題形式	正答率		
				市	都	国
1	注文の場面での店員と客の会話を聞き、客が注文したものを選択する	聞くこと	選択式	58.4	66.9	60.2
5	住みやすいまちづくりについての発表を聞き、話し手が最も伝えたいことを選択する	聞くこと	選択式	56.7	63.9	55.6
6	文章を読み、グラフの空所に入る学校行事を選択する	読むこと	選択式	61.3	72.2	67.3
10 ⑴	インターネットの使用に関する文章を読み、書き手が最も伝えたいことを選択する	読むこと	選択式	42.4	56.0	47.5
10 ⑵	インターネットの使用に関して読んだことについて、考えとその理由を書く	書くこと	記述式/口述式	24.1	35.6	27.8
11 ①	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	書くこと	短答式/口述式	57.5	68.6	58.9
11 ②	与えられた情報に基づいて、留学生の昨日の出来事を説明する英文を書く	書くこと	短答式/口述式	48.1	62.1	52.7
15 ⑴	電話でのやり取りの中で、遊ぶ約束をしている留学生に明日の天気を伝える	話すこと	短答式/口述式	24.3	47.0	42.3
19	学校生活をよりよくする方法に関して聞いたことについて、考えとその理由を話す	話すこと	記述式/口述式	16.4	31.1	25.8

※上述の正答率は、全員が共通して解答した公開問題のみを対象として掲載している。

⑶ 成果と課題

ア　成果

英語４技能の平均 IRT スコアは 473 で、全国の 499 を下回っているものの、全国との差は 26 ポイントであった。全員が共通して解答した「話すこと」では、学校生活をよりよくする方法について、聞いた内容を踏まえて自分の考えとその理由を話す問題の正答率が 16.4%であり、社会的な話題について英語で表現できた生徒も一定数見られた。

イ　課題

全員が共通して解答した「話すこと」では、明日の天気を伝える問題の正答率が 24.3%で、全国の 42.3%を下回った。また、学校生活をよりよくする方法について考えと理由を話す問題も 16.4%で、全国の 25.8%を下回っている。場面に応じた表現を用いる力や、聞いた内容を基に考えと理由を即興的に話す力の育成が課題である。

６　児童・生徒質問調査の結果（一部抜粋）

※数値は「よく行った」、「どちらかといえば、行った」等、肯定的な回答の割合の合計値（%）

⑴　肯定的な回答が、小学校・中学校でどちらかでも全国平均より上回った質問事項一覧

質問事項 （　）は質問番号	小学校第６学年			中学校第３学年		
	市	都	国	市	都	国
（38）５年生まで〔中学校：１、２年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	**62.2**	71.1	66.4	**70.0**	75.9	65.5
（51）道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	86.4	85.9	86.9	**93.4**	92.8	91.3
（52）国語の勉強は得意ですか	55.1	62.6	60.4	**53.7**	52.3	51.6
（56）５年生まで〔中学校：１、２年生のとき〕に受けた国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	**79.6**	77.1	78.1	**77.3**	72.0	73.0
（57）５年生まで〔中学校：１、２年生のとき〕に受けた国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか	**77.3**	73.3	75.1	69.7	71.0	71.8
（69）英語の勉強は得意ですか	**63.3**	60.7	59.8			
（71）英語の授業の内容はよく分かりますか				**64.5**	66.5	64.2
（72）英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか				**88.1**	90.1	87.6

（78）１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか				**87.9**	87.7	85.1
（79）１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか				**84.8**	85.7	82.8

本市の児童・生徒は、教員から自分のよさや成長を具体的に伝えられていると感じる割合が高く、学習における肯定的なフィードバックが行われている。また、中学生では、道徳で考えを深める活動や、英語で考えを伝え合ったり書いたりする活動への肯定感が高い。小学生では、英語を得意と感じる児童の割合が全国を上回っている。

⑵　肯定的な回答が、小学校・中学校でどちらかでも全国平均より**10%以上**下回った質問事項一覧

質問事項 （　）は質問番号	小学校第６学年			中学校第３学年		
	市	都	国	市	都	国
（13）困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	**57.1**	71.3	70.6	**59.9**	72.2	71.9
（22）分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	70.9	80.7	79.4	**64.2**	79.2	78.2
（36-3）ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って、情報を整理することができると思いますか	**55.2**	72.3	69.5	**56.2**	72.2	69.4
（36-4）ＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って、学校での活動でプレゼンテーションを作成することができると思いますか	**63.4**	78.5	74.6	74.5	84.3	80.0
（40）各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	64.5	75.4	73.4	**58.9**	73.6	70.8
（43）学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	69.8	78.0	78.4	**66.2**	80.3	79.0
（59）国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか	**68.1**	79.5	78.3			

（59）国語の授業で、文章を書いた後に、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしていましたか				**65.6**	77.9	76.1
（66）算数・数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	57.7	64.7	63.0	**47.6**	59.9	60.4
（80）キーボードを使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか				**37.7**	60.3	61.3

本市の児童・生徒は、困りごとを学校の大人に相談することや、ＩＣＴを使って情報を整理することに弱さが見られる。また、中学生では、自分で学び方を工夫したり、学習を振り返って次につなげたり、自分の考え方を説明したりすることへの肯定感が低く、主体的・自己調整的に学ぶ力の育成が課題である。

7　各教科の成果と児童・生徒質問調査とのクロス集計（一部抜粋）

●数値は全て、各教科の平均正答率（%）を表している。

●各質問事項において、それぞれの回答をした児童・生徒の平均正答率を比較し、各回答間の平均正答率に５%以上の差があった質問事項のみを抜粋している。

※例えば、回答１－回答２＝8.1%、回答２－回答３＝5.8%、回答３－回答４＝6.8%となれば、全ての回答間の平均正答率の差が５%以上のため抜粋するということである。

●以下に抜粋した質問事項について、本市においては、より肯定的な回答をすることが、各教科の正答率に影響を与えている可能性があることが分かる。

【小学校】

質問事項 （　）は質問番号	教科	**回答１**：している（できている）	**回答２**：どちらかといえば、している（できている）	**回答３**：あまりしていない（できていない）	**回答４**：全くしていない（できていない）
（36-1）あなたは自分がＰＣ・タブレットなどのＩＣＴ機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか	国語	58.4	50.9	45.9	37.7
	算数	54.6	44.7	37.8	25.5
（36-2）あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか	国語	57.8	49.2	43.1	31.8
	算数	51.5	44.0	35.3	24.4
（54）国語の授業の内容はよく分かりますか	国語	60.7	51.3	45.3	37.2
	算数	54.1	46.0	38.5	32.1

(62)算数の授業の内容はよく分かりますか	算数	59.1	44.8	34.6	29.2
(65) ５年生までに受けた授業では、算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか	算数	57.6	44.0	34.9	24.8
(66) ５年生までに受けた授業では、算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか	算数	56.6	50.3	40.5	30.8

【中学校】

質問事項 (　) は質問番号	教科	**回答１**：している（できている）	**回答２**：どちらかといえば、している（できている）	**回答３**：あまりしていない（できていない）	**回答４**：全くしていない（できていない）
(36-2) あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか	国語	63.0	57.2	51.1	40.5
(42) 学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	数学	60.5	51.5	46.0	35.2
(43)学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	数学	67.0	52.4	47.3	38.1
(48) 総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのＩＣＴ機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか	数学	62.8	52.2	44.2	38.9
(60) 数学の勉強は得意ですか	数学	68.9	58.0	49.1	39.3
(61) 数学の勉強は好きですか	数学	63.5	54.6	49.0	41.0
(67) １、２年生のときに受けた授業では、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができましたか	数学	70.5	55.1	39.3	34.2

【参考】

質問事項 （　）は質問番号	学年	**回答１**：している（できている）	**回答２**：どちらかといえば、している（できている）	**回答３**：あまりしていない（できていない）	**回答４**：全くしていない（できていない）
(53) 国語の勉強は好きですか	小６	56.6	55.0	50.5	43.6
	中３	63.5	59.1	58.6	55.2
(61) 算数（数学）の勉強は好きですか	小６	60.6	45.0	38.0	36.0
	中３	63.5	54.6	49.0	41.0

本市では、ＩＣＴを活用して情報を収集・整理・発表できることや、学習内容を振り返って次につなげること、話合いを通して考えを深めること、分からない問題にも粘り強く取り組むことと学力との間に関連が見られる。また、教科を「好き」と感じる児童・生徒ほど正答率が高い傾向があり、特に算数・数学ではその段階差が大きい。学習への肯定的な意識と主体的な学習行動の双方が、本市の学力と強く関わっている。

８　学校質問調査の結果（一部抜粋）

※数値は「よく行った」、「どちらかといえば、行った」等、肯定的な回答の割合の合計値（%）

⑴　肯定的な回答において、小学校・中学校の合算数値が、全国平均より上回った質問事項の中で特に差が大きい質問事項

質問事項　（　）は質問番号	市	都	国
(10) 将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導を行った	100	90.2	89.8
(13) ＳＣ・ＳＳＷに児童・生徒が相談したい時に相談できる体制となっている	100	98.6	96.1
(20) 新しい取組を導入・提案する教職員が多い	100	86.9	91.3
(37) 地域や社会で起こっている問題・出来事を学習の題材として扱っている	94.5	85.3	83.8
小（76）/中（84）小・中学校間で教育課程の接続や共通目標の設定等に取り組んでいる	94.5	77.7	69.5

⑵　肯定的な回答において、小学校・中学校の合算数値が、全国平均より **10%以上**下回った質問事項の中で、授業改善に取り組むことで改善が期待できる質問事項

質問事項　（　）は質問番号	市	都	国
(26) 児童・生徒は課題解決に向け、自分で考え、自分から取り組めている	52.2	86.8	87.6
(33) 児童・生徒自ら課題を設定し、話合い、まとめ、表現する活動を取り入れている	73.3	90.3	87.5

(35) 既習事項を振り返り、知識を総合的に関連付ける活動を行っている	74.4	93.0	91.2
(48) 国語で文章を踏まえて自分の考えをまとめる指導をしている	68.8	95.4	95.2
(51) 算数・数学で根拠を明確にし、筋道を立てて説明させている	84.5	96.9	95.8

本市の学校は、相談体制や教職員間の連携、新しい取組への姿勢、小中連携、地域・社会と結び付けた学習に強みが見られる。一方で、児童・生徒が自ら課題に向き合い、既習事項を生かして考えを深め、根拠を明確にして表現する学習過程には改善の余地がある。

資料５

令和８年度武蔵村山市立学校研究発表会について

令和８年９月１日現在

研究指定	発表校	日　時	研究主題	講　師	発表内容
【市】 令和７・８年度 特色ある学校づくり推進校	雷塚小学校	令和９年 １月 29 日（金） 13 時 20 分から 16 時 00 分まで	対話（かかわり）を通して、協働的に学び続ける児童の育成 ～体験を重視したまちづくり学習を通して～	東京成徳大学 特任教授　齋藤　等　先生	授業公開、研究発表及び講師講演
【市】 令和７・８年度 特色ある学校づくり推進校	小中一貫校 村 山 学 園	令和９年 ２月５日（金） 13 時 25 分から 16 時 00 分まで	自ら考え、判断し、表現できる児童生徒の育成 ～デジタルを活用した基礎的・基本的な学力の向上～	元工学院大学 教育推進機構　教職課程科 非常勤講師　三浦　登　先生 玉川大学　教育学研究科 教職専攻（教職大学院） 特任教授　髙岡　麻美　先生	授業公開、研究発表及び講師講演

資料６

武蔵村山 MUSASHIMURAYAMA 第57回 市民文化祭

（同時開催）生涯学習フェスティバル

期間:令和8年10月31日（土）～11月23日（月・祝）の土 日 祝日 他（入場無料）
会場:さくらホール（武蔵村山市民会館）他
主催:武蔵村山市文化協会（武蔵村山市民文化祭実行委員会）共催:武蔵村山市教育委員会

特別企画



みんな集まれ！だれでもコンサート

11月22日（日）16時～21時　市民会館・小ホール

だれでもエントリーできる楽しい音楽会！
どんなジャンルでも大歓迎！ 音楽好きの演奏者（団体）募集中！！
一人から参加可　伴奏の用意あり ＜参加無料・先着順＞
（みんな集まれ！問合せ）090-2750-8676 比留間



	団体名・催し名	会場	31日（土）	1日（日）	3日（火・祝）	14日（土）	15日（日）	21日（土）	22日（日）	23日（月・祝）
	生涯学習フェスティバル	小ホール 展示室 駐車場		10時～15時						
ステージ部門	武蔵村山民謡連盟	大ホール（開演時間）	11時＆18時							
	武蔵村山舞踊連盟			12時						
	ミュージックフェスティバル				12時					
	ハワイアン						13時			
	フラダンス							12時30分		
	和太鼓連盟								15時	
	ウインドアンサンブル									14時
	OTSUNA　session	小ホール（開演時間）	13時30分							
	むさむらギターサークル				10時					
	混声コールさくらの会 ＆おやじバンド				混声コール16時 おやじ16時50分					
	劇団「むさしの座」 演劇「大人たるもの」					・14時30分 ・18時30分	・11時 ・14時30分			
	クロスオーバージェネレーション							13時30分		
	エスフライド（esFlyyd）							19時		
	吟剣詩舞道連盟								10時	
	文化協会特別企画 みんな集まれ！だれでもコンサート								16時	
展示部門	押し花絵展	会議室	9時～16時	体験13時～						
	切り絵展	集会室				9時～16時				
	美術展	展示室				9時～16時				
	いけ花展	会議室				9時～16時				
	俳句展	展示室						9時～16時		
	短歌展	展示室						9時～16時		
	短歌（源氏物語の朗読）	集会室						9時～16時		
	写真展	会議室						9時～16時		
催事	武士団村山党　体験とゲーム	展示室		10時～15時						
	茶　道	和室					10時～14時30分			
	武蔵村山市民囲碁大会	和室							受付12時～	

＜問合せ先＞　武蔵村山市民文化祭実行委員会　事務局　TEL 090-7827-0178　乃山
武蔵村山市教育委員会教育部文化振興課　TEL 042-565-1111（内線 658）

令和8年度　　MUSASHIMURAYAMA

Program ～市民文化祭＆生涯学習フェスティバル～

会　場	団体名・催し名		開催日	時間等	内　　容
小ホール 展示室 駐車場	生涯学習フェスティバル		11月　1日(日)	10時～15時	市民文化祭と同時開催（内容は、生涯学習フェスティバルのプログラムに記載）
大ホール	武蔵村山民謡連盟		10月31日(土)	民謡開演:11時 ダンス開演:18時	日本民謡と武蔵村山の唄発表とダンス発表。 ※民謡飛び入りOK！
	武蔵村山舞踊連盟		11月　1日(日)	開演:12時	日本舞踊愛好家による踊りの発表会
	音楽1	ミュージックフェスティバル	11月3日(火祝)	開演:12時	小中学生の吹奏楽演奏と市内音楽団体の器楽演奏と合唱
	ハワイアン		11月15日(日)	開演:13時	フラハラウ　オ　カレオラニのフラダンスと、 Lani　Kai、ティーリーブスのバンド演奏
	フラダンス		11月21日(土)	開演:12時30分	市内のフラダンスチームによる発表会
	和太鼓連盟		11月22日(日)	開演:15時	和太鼓連盟の所属団体による和太鼓の演奏
	音楽2	ウインドアンサンブル	11月23日(月祝)	開演:14時	第38回定期演奏会、曲目はクラシックからポップス、演歌まで演奏の楽しい音楽会です。
小ホール	生涯学習フェスティバル		11月　1日(日)	10時～15時	公募による団体・個人の演奏・発表
	軽音楽	OTSUNA　session	10月31日(土)	開演:13時30分	市内高校OBによるポップスバンドです。 おつな演奏をお楽しみください。
		むさむらギターサークル	11月3日(火祝)	開演:10時	クラシックギター演奏を、アンサンブルでお楽しみください。
		混声コールさくらの会 ＆おやじバンド	11月3日(火祝)	混声コール開演:16時 おやじ開演:16時50分	地域コミュニティによる歌とバンドのジョイントコンサートをお楽しみください。
		クロスオーバージェネレーション	11月21日(土)	開演:13時30分	スイングジャズ・オーケストラの演奏をお楽しみください。
		エスフライド（esFlyyd）	11月21日(土)	開演:19時	音楽家とダンサーによる、ジャンルフリーな異文化融合音楽祭。（ゲストあり）
	文化協会特別企画 みんな集まれ!だれでもコンサート		11月22日(日)	開演:16時	音楽のジャンルを超えた、誰でもコンサートです。 （ひとりでも参加OKです）
	劇団「むさしの座」 演劇「大人たるもの」		11月14日(土) ～15日(日)	開演 ⇒	14日(土)14時30分・18時30分 15日(日)11時・14時30分
	吟剣詩舞道連盟		11月22日(日)	開演:10時	漢詩・現代詩・和歌・俳句・今様を大きな声で吟詠し（歌い）ます。小学生も出演します！
会議室	押し花絵展		10月31日(土) 11月　1日(日)	9時～16時	四季折々の草花を押し花にし、自然の美しさを活かすアートです。「はなみずき」体験有り午後1時～100円
集会室	切り絵展		11月14日(土) 11月15日(日)	9時～16時	切り絵サークル「つみき」会員による作品展
展示室	美術展		11月14日(土) 11月15日(日)	9時～16時	油絵・水彩画・水墨画・その他・力作揃いです。 どうぞご鑑賞ください。
会議室	いけ花展		11月14日(土) 11月15日(日)	9時～16時	よってかっしぇクラブの「いけ花」グループによる作品の展示
展示室	俳句展		11月21日(土) 11月22日(日)	9時～16時	俳句を楽しく！　俳句カルタ大会 両日とも　①10:30～　②13:30～
展示室	短歌展		11月21日(土) 11月22日(日)	9時～16時	日常生活の一こまを詠んだ「短歌展」
集会室	短歌（源氏物語の朗読）		11月21日(土) 11月22日(日)	9時～16時	随時雅楽（DVD）　22日13時「源氏物語の朗読」
会議室	写真展		11月21日(土) 11月22日(日)	9時～16時	市内グループと一般公募による写真展
展示室	歴史	武士団村山党 武者＆お姫様体験　城攻めゲーム	11月 1日(日)	10時～15時	甲冑や衣装装着・武者お姫様体験、手作り大砲によるお城攻略ゲーム等
和室	茶　　道		11月15日(日)	10時～14時30分	抹茶一服を味わい日本の伝統文化を体験する。 抹茶・和菓子付き　500円
和室	武蔵村山市民囲碁大会		11月22日(日)	当日受付:12時 開始:12時30分	対局:名人戦、有段戦、級位戦 参加費:500円、中学生以下は200円
大南 地区会館	軽音	童謡を歌う会	11月18日(水)	10時～11時30分 （予約不要）	ピアノ伴奏で楽しく日本と世界の名曲を歌う集い。どなたでも自由にご参加ください（無料）

資料７

第２９回武蔵村山市生涯学習フェスティバルの開催について

１　主　　催　　生涯学習フェスティバル実行委員会

２　共　　催　　武蔵村山市教育委員会　　武蔵村山市民会館指定管理者

３　日　　時　　令和８年１１月１日（日）午前１０時から午後３時まで

４　開 会 式　　令和８年１１月１日（日）午前９時３０分から予定
（さくらホールエントランスホール）

５　場　　所　　・さくらホール（武蔵村山市民会館）
（小ホール、展示室、集会室、会議室、研修室）
・市役所市民駐車場

６　体験ブース　　６団体
クリスマスの工作、村山音頭などの唄や踊りの体験、プラバン工作教室、紙ひこうき教室、整体・健康体操、和太鼓・鳴物の体験・演奏

７　舞台出演　　７団体
洋楽ポップス・昭和歌謡、フォークソングの演奏、インスタコードの演奏、コーラス、チアダンス、和太鼓、村山音頭

８　そ の 他
（販売）　　豆乳おからドーナッツ、焼き鳥、クロワッサンコルネ、パン、焼きそば、フランクフルト、ポップコーン、わたあめ、飲物

資料８

第２１回地区ふれあいスポレク大会の開催について

１　主　　催　　武蔵村山市教育委員会

２　主　　管　　４地区ふれあいスポレク大会実行委員会

３　開催期日　　令和８年１０月１８日（日）※雨天の場合は中止

４　地区区分

中藤地区　１６自治会（鍛冶ヶ谷戸、谷津、入り、向山、神明、中藤団地、原山、原山第一、萩ノ尾、中村第一、中村第二、馬場、横田、日の出、新海道、平和台第一）

西部地区　１０自治会（三ツ藤、村山道下、山王森、峰、後ヶ谷戸、宿、残堀、伊奈平、岸、中原）

南部地区　１５自治会（しののめ、平和台第二、マイホームランド玉川上水、大南五丁目、大南、上水台、第２ブロック、１１０１、１１１０号棟、１１１１号棟、１１１２、緑が丘第一、緑が丘第二、緑が丘第３、緑が丘第５、）

北部地区　１３自治会（雷塚、学園、むさしの宿舎、第６ブロック、武蔵村山団地第８ブロック、村山団地第１１ブロック、１２ブロック、緑が丘第六、緑が丘第７、緑が丘第８、緑が丘第九、緑が丘第１１、１１４１号棟）

５　プログラム（案）

	中藤地区	西部地区	南部地区	北部地区
会場	第一中学校校庭	総合運動公園運動場（第２運動場）	大南公園野球場	雷塚公園野球場
1	開会式（午前９時）	開会式（午前９時）	開会式（午前９時）	開会式（午前９時）
2	ミニ・グラウンドゴルフ	ホールインワン競争	ボッチャ（デモンストレーション）	ウルトラクイズ
3	パン食い	あけてびっくり！？	ウルトラクイズ	グラウンドゴルフリレー
4	玉入れ	２人でサンドイッチ	ホールインワン大会	パラソル輪投げ
5	みーつけた！	お玉リレー	キッズレース	お宝さがし
6	「クッブ」をやってみよう！	みんなの玉入れ	あけてびっくり！？	お宝つり
7	閉会式	ウルトラクイズ	じゃんけん大会	お山の大将
8		閉会式	閉会式	閉会式

※各地区の実行委員会にて検討中のため、内容が変更となる場合があります。

資料９

第５３回武蔵村山市民駅伝競走大会の開催について

１　主　　催　武蔵村山市教育委員会

２　開催期日　令和８年１２月１３日（日）　※小雨決行

午前８時　　選手受付（総合体育館）

午前９時　　開会宣言（総合体育館駐車場）

午前９時４５分　スタート（女子、小学生男子、小学生女子、中学生男子、中学生女子の部）

午前１０時　　スタート（一般、地域の部）

午後０時３０分　表彰式及び閉会式（総合体育館第一体育室）

３　コ ー ス　市内２周・６区間　１４．７５ｋｍ（別紙コース図参照）

区間	始点　～　終点	距離
１区	総合体育館前～宿交差点左折～田島内科クリニック	2.95ｋｍ
２区	田島内科クリニック～大曲り交差点折返し～市役所前	1.50ｋｍ
３区	市役所前～宿交差点右折～市道１７号線折返し～総合体育館前	2.80ｋｍ
４区	総合体育館前～第１運動場入口折返し～宿交差点左折～田島内科クリニック	3.20ｋｍ
５区	田島内科クリニック～大曲り交差点折返し～市役所前	1.50ｋｍ
６区	市役所前～宿交差点右折～市道１７号線折返し～総合体育館前	2.80ｋｍ

４　参加資格　市内在住・在勤・在学者（小学４年生以上）で構成されるチーム

※　申込状況等により参加資格を変更する場合がある。

５　編　　成　１チーム１０人以内（監督１人、選手６人、補欠３人以内）

※１　監督は、選手を兼ねることができる。ただし、小学生・中学生の部の監督は成人とし、選手を兼ねることはできない。

※２　当日の参加選手が６人に満たないチームは失格となるため、補欠については可能な限り登録しておくこと。なお、団体等が複数のチームを編成して参加する場合など、チーム間での補欠選手の重複登録は認めるが、同一選手が複数のチームで出場することは禁止する。

6　部門及び募集数

部　　門	選手及び補欠の編成内容
一　般　の　部	男性のみ又は男女混合で編成されたチームの内、以下の各部門に該当しないチーム
地　域　の　部	同一自治会内に居住する男性のみ又は男女混合で編成されたチーム
女　子　の　部	高校生以上の女子のみで編成されたチーム
小学生男子の部	小学生の男子のみ又は男子女子混合で編成されたチーム
小学生女子の部	小学生の女子のみで編成されたチーム
中学生男子の部	中学生の男子のみ又は男子女子混合で編成されたチーム
中学生女子の部	中学生の女子のみで編成されたチーム
特別参加チーム	姉妹都市栄村村民等の主催者が特別に参加を認めたチーム

※　募集数は全部門合計で１４０チームとし、先着順とする。

7　申 込 み　⑴　申込期間　令和８年１０月２日(金)から同月２６日(月)まで
午前８時３０分から午後５時まで
※定員になり次第終了

⑵　申込方法　ＬｏＧｏフォームからの申込み又は所定の申込用紙に必要事項を記入の上、スポーツ振興課へ持参する。

8　参 加 料　⑴　一般の部、地域の部、女子の部　１チーム　６，０００円

⑵　小学生男子の部、小学生女子の部、中学生男子の部、中学生女子の部、特別参加チームは無料

※１　参加料は、令和８年１１月２７日（金）の監督会議で納入すること。

※２　気象状況等による大会の中止やチーム事由により棄権、失格となった場合であっても、納入後の参加料の返金はせず、記念品の授与を行うものとする。

9　表　　彰　⑴　各部門の優勝から第３位までのチームに賞状及びメダルを授与する。

⑵　各部門とも区間の最高記録者には、区間記録賞を授与する。

⑶　原則として、参加チームが３チーム未満の部門はオープン参加とし、表彰は行わない。

10　監督会議　令和８年１１月２７日（金）　午後７時から
中部地区会館（市役所４階）４０１大集会室にて開催

別　紙

大会コース図

区間・距離

１区（２．９５ｋｍ）	総合体育館前→宿交差点左折→田島内科クリニック
２区（１．５０ｋｍ）	田島内科クリニック→大曲り交差点折返し→市役所前
３区（２．８０ｋｍ）	市役所前→宿交差点右折→市道 17 号線折返し→総合体育館前
４区（３．２０ｋｍ）	総合体育館前→第１運動場入口折返し→宿交差点左折→田島内科クリニック
５区（１．５０ｋｍ）	田島内科クリニック→大曲り交差点折返し→市役所前
６区（２．８０ｋｍ）	市役所前→宿交差点右折→市道 17 号線折返し→総合体育館前

総距離：１４．７５km

